

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年8月19日（水）

2 確認箇所

- ・ H4 南タンクエリア西側周辺（図1）
- ・ H5 タンクエリア東側周辺（図1）
- ・ H6 タンクエリア周辺（図1）

3 確認項目

処理途上水移送配管設置工事の状況

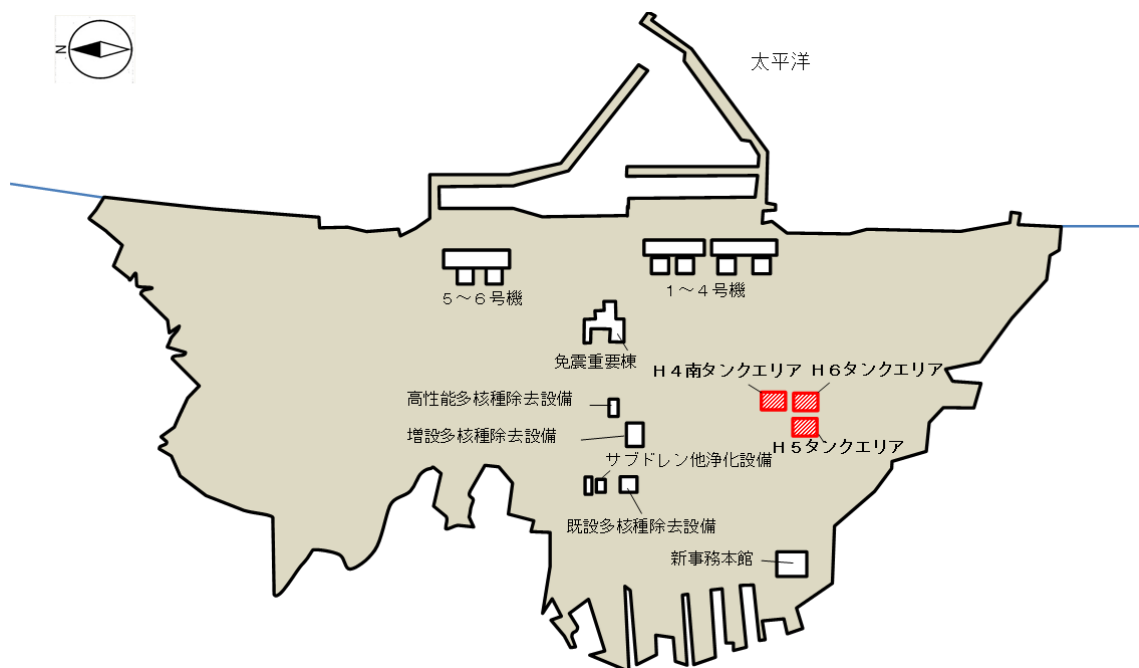
4 確認結果の概要

東京電力では、構内で発生した汚染水対策を多核種除去設備等で処理した水（以下「ALPS処理水等」という。）について、溶接型タンクに貯留している。このうち、約7割は国が定める放出基準値を超過している水（以下「処理途上水※」という。）であり、多核種除去設備等で二次処理する必要がある。

東京電力では処理途上水の二次処理を安定的に実施するための移送配管（以下「処理途上水移送配管」という。）の設置工事を2期に分けて実施しており、今回、2期工事が開始されていることから、その状況を確認した。（前回確認日：令和8年7月1日）

- ・各タンクエリア周辺において、処理途上水移送配管を敷設するための支持架台の設置が進められていた。（写真1）
- ・H5タンクエリア東側には、H5タンクエリアとH6タンクエリアのタンク間を接続する処理途上水移送配管を敷設するための横断側溝の設置工事の準備が進められていた。（写真2）

※処理途上水：福島第一原子力発電所で発生した汚染水をALPS等で処理した水のうち、トリチウムを除く放射性核種の告示濃度比総和が1以上の水。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 ①)
H4南タンクエリア西側の状況



(写真 1 ②)
H5タンクエリア東側の状況①



(写真 1 ③)
H 5 タンクエリア東側の状況②



(写真 1 ④)
H 6 タンクエリア西側の状況



(写真 2)
横断側溝設置工事用のバックホウ

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。